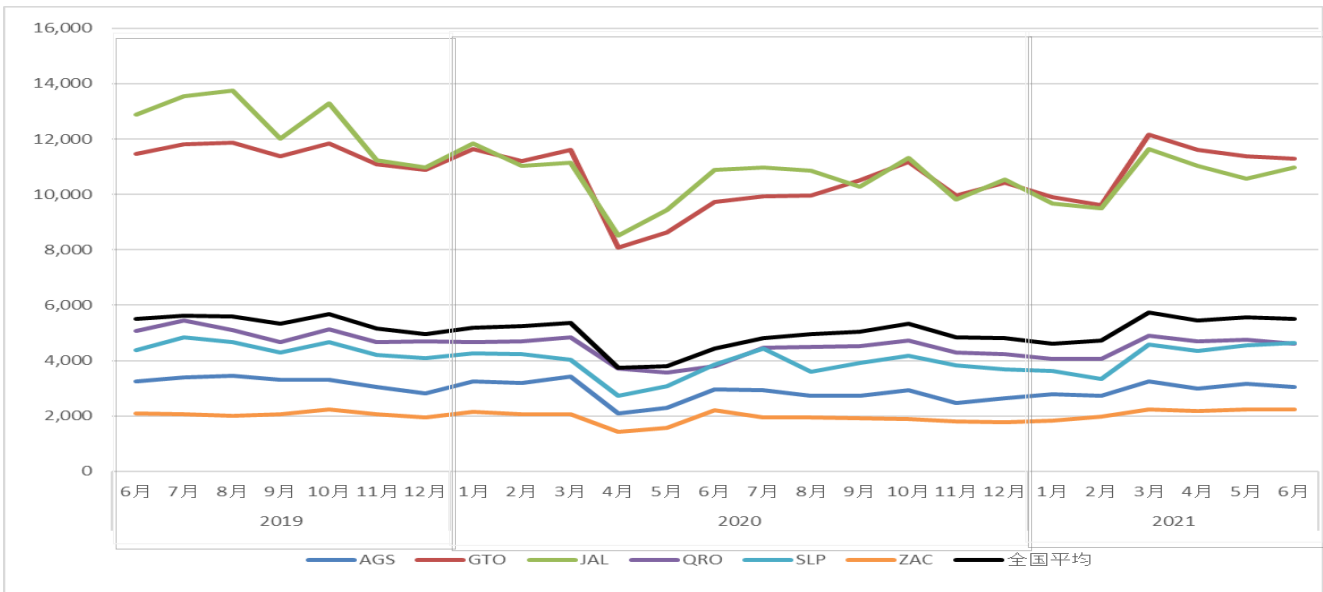


1 バヒオ地区・治安情勢

(1) メキシコ公安省の発表では、バヒオ地区6州の2021年1月～2021年6月までの総犯罪認知件数は212,060件と前年度(2020年1月～2020年6月)199,901件に比べ6.1%増加しています。2020年度はコロナの影響もあり4月に大幅に減少したため、前年度と比べ総犯罪認知件数は減少し、バヒオ地区6州も同様に減少となりました。しかし、その後は徐々に増加傾向となり2021年3月には2019年度と同水準となっています。特にグアナファト州(GTO)とハリスコ州(JAL)は、州内の犯罪傾向は異なるものの、全国の平均犯罪総件数値を大きく上回っており十分注意が必要です。

(2) メキシコ国内では複数のカルテルが存在しており、故意殺人の多くはカルテルによる抗争が大きく関わっていると言われていています。特にGTO州についてはサンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル(CSRL)とハリスコ新世代カルテル(CJNG)との抗争が数年間続いている影響もあり、故意殺人の件数は全国で1位となっています。また、カルテルによる治安当局関係者(警察官など)の殺害も全国で1番多い州でもあります。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者や窃盗団などの犯罪組織と言われていますが、犯罪組織同士の銃撃戦やターゲット殺害時に一般市民が巻き込まれるケースもあるため十分注意が必要です。



2 管轄地域内における一般犯罪の傾向(2021年4月～6月) ※前期2021年1月～3月

(1) グアナファト州(人口616万人) 犯罪認知総数 34,249件(前期比8.1%増)

殺人件数については微減ですが、高止まりの状態が続いておりグアナファト州でも特にセラヤ市、レオン市で多くの殺人事件が発生しています。殺人事件が多い背景にはカルテルの抗争による影響が大きく、それに加えて故意傷害や強盗の件数も他の州に比べて高い水準であるため十分注意が必要です。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	増減率
故意殺人	794	775	-2.4%
故意傷害	2,809	3,417	21.6%
強盗	2,707	2,169	-19.9%
窃盗	5,071	5,182	2.2%
脅迫	2,178	2,723	25.0%
誘拐	4	1	-75.0%
麻薬密売	5,306	6,277	18.3%

強姦	204	232	13.7%
----	-----	-----	-------

(2) アグアスカリエンテス州 (人口 142 万人) 犯罪認知総数 9,169 件 (前期比 4.4%増)

他州に比べて犯罪件数は少ない州ですが、人口が少ない州でもあるため犯罪発生率で考えると決して低い数値ではありません。特に傷害、窃盗、強盗の件数が増えてきており日本人被害も発生していることから治安は徐々に悪化してきているという認識を持つ必要があります。

■主な犯罪	1月～3月 (件)	4月～6月 (件)	増減率
故意殺人	14	20	42.9%
故意傷害	871	1,028	18.0%
強盗	212	222	4.7%
窃盗	2,201	2,297	4.4%
脅迫	790	922	16.7%
誘拐	1	0	-100.0%
麻薬密売	751	152	-79.8%
強姦	91	95	4.4%

(3) ハリスコ州 (人口 834 万人) 犯罪認知総数 32,545 件 (前期比 5.7%増)

過去の統計からも強盗が非常に多く発生している州です。特に強盗は日本人被害件数も多く、銃器を使用した事件となっていることから、一歩間違えば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高いです。早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるよう日頃から注意する必要があります。

■主な犯罪	1月～3月 (件)	4月～6月 (件)	増減率
故意殺人	498	491	-1.4%
故意傷害	1,814	2,236	23.3%
強盗	4,649	4,544	-2.3%
窃盗	7,794	8,210	5.3%
脅迫	2,529	2,658	5.1%
誘拐	5	7	40.0%
麻薬密売	278	267	-4.0%
強姦	113	141	24.8%

(4) ケレタロ州 (236 万人) 犯罪認知総数 14,042 件 (前期比 8.1%増)

傷害、強盗とも増加傾向であり、犯罪の多くがケレタロ市で発生しています。犯罪件数も増加傾向であることから、治安は悪化傾向となっているため十分注意が必要です。

■主な犯罪	1月～3月 (件)	4月～6月 (件)	増減率
故意殺人	49	51	4.1%
故意傷害	1,132	1,369	20.9%
強盗	544	622	14.3%
窃盗	4,793	4,842	1.0%
脅迫	1,007	1,156	14.8%
誘拐	1	5	400.0%
麻薬密売	287	268	-6.6%

強姦	171	138	-19.3%
----	-----	-----	--------

(5) サンプルスポトシ州 (人口 282 万人) 犯罪認知総数 13,539 件 (前期比 17.4%増)

犯罪認知総数の増加率がバヒオ 6 州の中でもっとも高くなっています。日本人被害が多い強盗の件数も増加しているため十分注意が必要です。

■主な犯罪	1月～3月 (件)	4月～6月 (件)	増減率
故意殺人	178	182	2.2%
故意傷害	882	1,156	31.1%
強盗	685	832	21.5%
窃盗	2,243	2,418	7.8%
脅迫	610	848	39.0%
誘拐	7	2	-71.4%
麻薬密売	306	203	-33.7%
強姦	156	177	13.5%

(6) サカテカス州 (162 万人) 犯罪認知総数 6,657 件 (前期比 9.6%増)

犯罪件数は少ない州ですが、人口も少ないため発生率で言うと低い数値ではありません。特に殺人に関しては発生率で考えた場合、他の州と比べても高い数値となっているため十分注意する必要があります。

■主な犯罪	1月～3月 (件)	4月～6月 (件)	増減率
故意殺人	290	262	-9.7%
故意傷害	455	557	22.4%
強盗	444	439	-1.1%
窃盗	1,058	1,048	-0.9%
脅迫	271	344	26.9%
誘拐	4	2	-50.0%
麻薬密売	66	90	36.4%
強姦	76	86	13.2%

3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) グアナファト州内では、麻薬やガソリン窃盗に関係する犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやディスコ等の出入りについて極力避けるとともに、違法薬物には一切かかわらないことが大切です。また夜間を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意して下さい。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限 (犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等) を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる死傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭

遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従って下さい。

- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品の放置に注意が必要です。
- (4) バヒオ地区内では空き巣被害や強盗被害が目立ちます。万が一にも空き巣被害を確認した際には、まずは911（警察、消防、救急への緊急通報番号）通報し警察官同行のもと住居内の確認を行って下さい。犯人が住居内に残っていた場合、拳銃等を所持している可能性が非常に高いことから、住居区の警備員の同行であっても必ず警察官の到着を待って下さい。また、強盗被害に遭遇した場合は、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先して下さい。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず911番通報を行うよう心掛けて、犯人の逮捕を希望する場合は、検察局 (Ministerio Publico) に被害届を提出して下さい。

被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様へ注意喚起することができますとともに、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができるためご協力をお願い致します。

5 日本人被害の犯罪発生状況（2021年4月～6月）

バヒオ地区における日本人被害数は、前期（2021年1月～3月）6件であったのに対して、今期（2021年4月～6月）は5件であった。なお、引き続き拳銃を利用した強盗事案が目立つため注意が必要です。

被害日時	被害地域	被害場所	被害者	事件種別	被害状況
4月10日 (土) 17:15	アグアスカリエンテス州 アグアスカリエンテス市	日本食品店	在留邦人 男性	強盗 路上 (駐車場も含む)	日本食材店の駐車場に車を止め降車したところ、拳銃を所持した男に声をかけられた。話の内容は理解できなかったが、腕時計を指したため、抵抗せずに渡した。ヘッドホン等他のものも要求してきたが、他の客の車が駐車場に入ってきたこともあり、犯人はそのまま共犯者の待つ車両に乗り逃走した。
5月8日 (土) 10時前後	サンルイスポトシ州 サンルイスポトシ市	スポーツ施設の駐車場	在留邦人 男性	窃盗 車上ねらい	10時頃から16時前後まで車のトランクにノートPCとipadを入れたカバンを入れて車を離れていた。その間に車のキー挿入部に何か入れトランク内のカバンを窃盗されたもの。尚、駐車場の入口、および施設の入り口にセキュリティがあり、施設内は会員のみの利用となっていた。

<p>5月11日 (火) 11時頃</p>	<p>ハリスコ 州サポパ ン市</p>	<p>自宅</p>	<p>在留邦人 男性</p>	<p>詐欺</p>	<p>在留邦人（以下家主）の自宅（固定電話）に男性から電話があり、家政婦が応対したところ、家主宛の重要書類が民間宅配会社を通じて届く予定があり、受取の手続で公証役場から電話がある。しかし家主は現在重要な会議に出席していて直接やりとりができないため、別の電話番号を教えるよう依頼があった。家政婦が自身の携帯電話を教えたところ、携帯電話に同じ男性から電話があり、同時に固定電話に公証役場で勤務していると名乗る女性から電話があった。女性によると、重要書類を受け取るためには現金を振込む必要があり、それをしなければ莫大な罰則金がかかると説明を受けたため、それを電話の男に話すと、家主が寝室のクローゼットの中にある封筒にお金が入っているため、それを使うようにと言っていると説明を受けた。家政婦は実際に探したが見当たらなかったため、家主と一緒にいるのであれば、直接話したいと伝えたが、重要な会議の邪魔はできないから無理だと断られた。そしてクローゼットの中にあるものすべてを公証役場に差し出すよう家主が指示をしていると言うので、スーツケースに現金、カード、パスポート、時計など、あるものすべてを入れたことを双方に伝えると、公証役場の女性がこれからメッセージャーをよこすので、その者に荷物を渡すように言った。その後、メッセージャーが到着したと言うので家の前にいた男に荷物を渡し家に帰り、もう一度男性に家主に代わって欲しいと言ったが依然会議中とのこと、双方からの電話を切ったのち再度固定電話から2つの電話番号にかけなおしてみたら、2つとも同じ女性が応答したため、電話をすぐ切り、詐欺被害に遭ったと気づいたもの。</p>
<p>5月13日 (木) 20時15分頃</p>	<p>グアナフ アト州レ オン市</p>	<p>コンビニ</p>	<p>在留邦人 男性</p>	<p>強盗 路 上 (駐車場 も含む)</p>	<p>会社からの帰宅途中に自宅（コンドミニウム）近くのコンビニエンスストア駐車場に車を停車。 降車しようとした際、3人組が近づいてきた為、ドアを閉めたところ、後部座席の窓を割られた上で、かばん（貴重品）を盗まれ、3人組はそのまま逃走。 本人は暴行など受けることはなく、怪我はな</p>

					し。犯行グループは後部座席の窓ガラスを割っており、凶器を持っていた可能性はあるが、はっきりと覚えておらず。
6月22日 (火) 21時頃	アグアスカリエン テス州 アグアスカリエン テス市	日本食レストラン	邦人男性	窃盗 車 上ねらい	AGS 市内日本食レストランで食事し車に戻ったところ後部座席の窓を割られ車内に置いていた旅券、携帯電話等が入ったカバンを盗まれたもの。 車は店の前の駐車場が満車だったため路肩に停めていた。

以上